

木下らんま店

伝統的工芸品の「大阪欄間」を
素材の選定から一貫製作納期
相談
コスト
相談
メイドイン
ジャパン

彫刻欄間を彫る

主な事業内容

欄間の製造・販売、神社仏閣などの
彫刻、木製看板彫刻など

主な取引先(納入先)

建設会社、店舗装飾会社、
工務店、デザイナー、一般消費者

主な製品

欄間全般、神社仏閣向け彫刻、
装飾品や小物などの木製品業務
内容
伝統工芸士が
欄間製作に腕を振るう

木下らんま店は「大阪欄間」を製作する。欄間とは和室の天井と鴨居の間に設置する、通風や採光を目的とした開口部のこと。組み木や彫刻などの装飾を施して高級感を出す。その欄間が大阪という大消費地で独特の発展を遂げたのが、国の伝統的工芸品にも指定されている大阪欄間である。同店は大阪欄間のほか、杜寺彫刻や木製看板などの加工も手がけている。

創業は昭和44年。欄間製作の修業を積んだ木下文男代表が独立し、自分の店として始めた。現在では、文男氏が国認定伝統工芸士となっており、大阪府認定の伝統工芸士となった長女・朋美氏とともに、杉やヒノキなどの木目を生かした、繊細で高級感のある欄間などを製作している。

強み
ゆとりある空間づくりを
顧客とともに考える

同店では、日本特産の木材にこだわりの、長年培った目利きによる素材の選定からデザイン、仕上げまで、職人が一貫して行っている。顧客の思いをカタチにできるよう、何度も打ち合わせ

代表者あいさつ

代表
木下 文男さん

伝統工芸士の認定を受け、責任を痛感しています。伝統的工芸品は100年以上継承していることが認定要件で、その歴史に恥じないよう顧客に寄り添った製品づくりを心がけています。新商品の開発においても、一貫生産で品質管理と顧客対応をする体制づくりが重要だと思っています。

主な保有設備

■ 電動系鋸 3台

商品
開発
小物の木彫り商品の
開発にも力を入れる

日本家屋における昔ながらの欄間の需要は減少している。それでも、欄間彫刻の伝統を絶やさぬよう、長年培った技術や技法を駆使した様々な新商品の開発と併せてライフスタイルを提案している。その中で、「moca(モカ)／らんま職人の花小皿セット」「らんま職人が作る名刺入れ」のように「らんま職人」という言葉を入れ、欄間職人の存在をアピールすることで新たな需要を創造する努力もしている。また、「moca(モカ)／らんま職人の花小皿セット」は「大阪製ブランド」に、名刺入れは「摂津ブランド」に認定され、欄間職人の存在感をさらに高めている。

大阪
06

住 所／〒566-0053
摂津市鳥飼野々
1-27-24
T E L／072-654-4152
F A X／072-653-0377
創 業／昭和44年2月
設 立／—
資本金／—
従業員／2名


<https://kinoshitaranmaten.hp.peraichi.com/>


欄間には様々な種類がある



杜寺彫刻の一部